

# 令和6年度 公共事業 事後評価

平成30年度完了

**畑地帯総合土地改良事業**

**南牧地区**

**南佐久郡南牧村**

長野県 農政部



# 事業の概要

## 事業計画時の課題・背景及び事業経緯

- ◆ 本地区は、八ヶ岳の東方に位置する野辺山高原であり、全国でも有数のはくさい、レタス、キャベツの高原野菜栽培地帯である。
- ◆ 畑かん施設が未整備のため作物への灌水に多大な労力を要しているほか、農道は近年の機械の大型化に伴い幅員が狭く、路面に損傷があるため、通作や輸送に支障をきたしている。さらに排水路の老朽化に伴う損壊により、畑の浸食や滞留による冠水のために根腐れを起こしている。
- ◆ これらの課題を解消するため、畑地かんがい施設の新設及び排水路、農道の整備を行うこととし、平成23年度に事業着手した。

### 【事業実施前の状況】



幅員が狭くすれ違い困難



経年劣化から路面の損傷



排水路の損壊



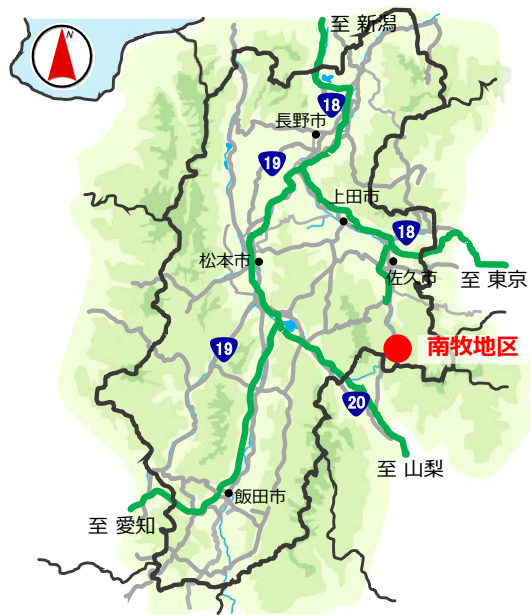
排水路の損壊による畑の冠水

## 事業目的

農業生産基盤の整備により、効率的な営農を可能とし、農業経営の安定化を図ることを目的としている。

# 事業の概要

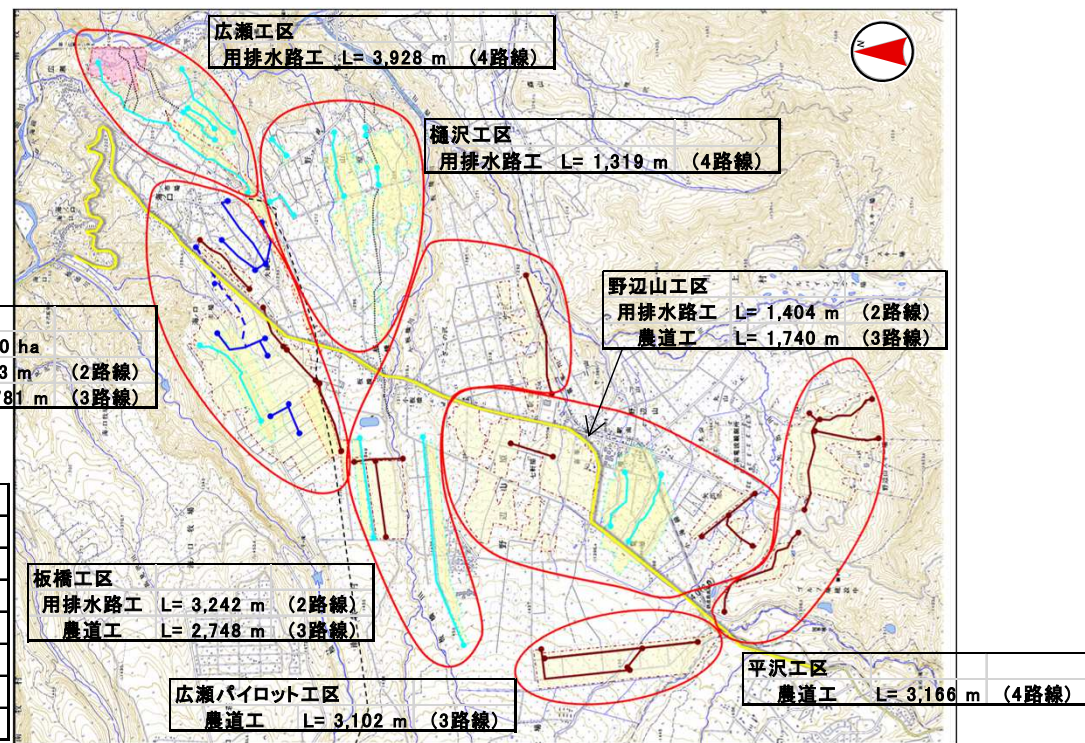
## 【位置図】



## 【平面図】

海ノ口工区	
畑地かんがい工	A= 220 ha
用排水路工	L= 923 m (2路線)
農道工	L= 1,781 m (3路線)

凡 例	
畑地かんがい工	●—● A= 220 ha
用排水路工	●—● L= 10,816 m
農道工	●—● L= 12,537 m
国道 141 号	●—●
受益地(田)	■
受益地(畑)	■



## 【全体計画】

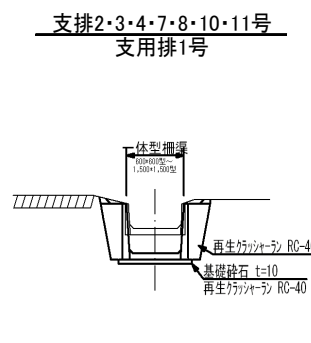
事業内容 : 畑地かんがい工 A=220ha  
 用排水路工 L=10,816m  
 農道工 L=12,537m

事業期間 : 平成23年度～平成30年度

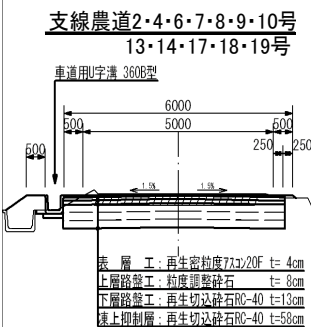
全体事業費 : 28億9586万8千円

## 【標準横断面図】

標準断面図



標準断面図



## 【事業完了後の状況】




排水路

農道



# 事業概要の変更経緯

## 事業概要の変更経緯

	当初計画 (平成22年度新規評価)		最終実績 (平成30年度完了時)
事業期間	平成23年度～平成28年度		平成23年度～平成30年度
総事業費	25億円		28億9586万8千円
費用対効果	B/C = 9.98		B/C = 9.98
事業概要	畑地かんがい工 A=220ha 用排水路工 L=12,000m 農道工 L=15,440m		畑地かんがい工 A=220ha 用排水路工 L=10,816m 農道工 L=12,537m

### 変更理由 (事業期間の延長、総事業費の増)

- ◆ 農道拡幅工事に伴う関係土地所有者との調整に期間を要し、事業期間が延長となった。
- ◆ 当初計画時は、農道工は拡幅のみとしていたが、近年の集中豪雨により路面排水が畑地内へ浸水し高原野菜の品質低下等の被害が多く発生していたため、農道工と併せて道路排水工を増工し、事業費が増となった。

# ① 事業効果の発現状況



排水路の整備



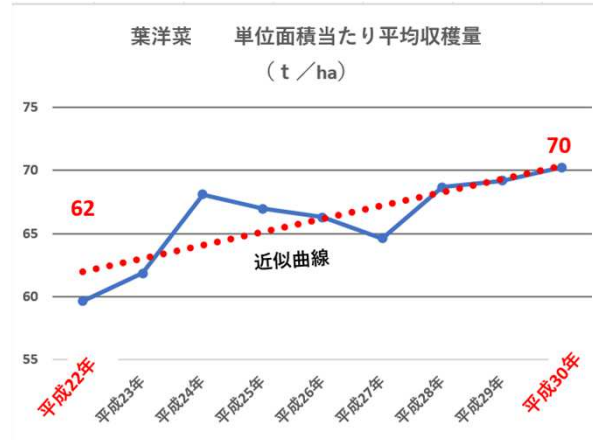
農道の拡幅改良



畑地かんがい施設の新設

## 【直接効果】

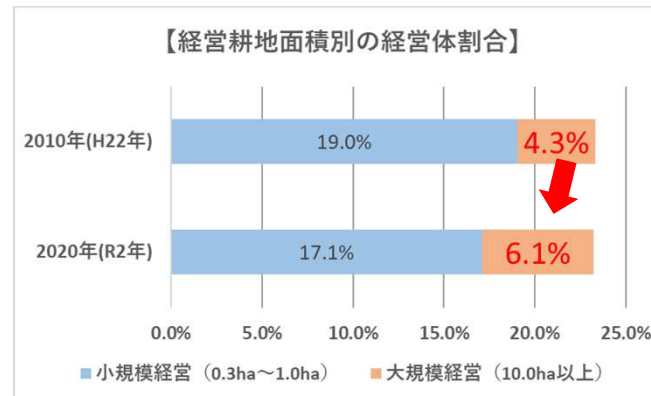
### ● 作物生産量の増加



畑かん施設の新設により用水が安定供給、排水路の整備により排水不良がなくなる

事業前後で  
**+13%**  
増加  
(62t → 70t)

### ● 経営体当りの耕作面積の増加



農道の整備により輸送や通作が改善され、1経営体当りの耕作面積が増加

事業前後で  
**大規模経営**  
の割合が増加  
(4.3% → 6.1%)

## 【間接効果】

- 防災機能：排水路の整備により、人家等への被害を防止
- 交通安全：農道の整備により、安全な通学路を確保

## ② 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化

### 【自然環境】

- 排水路、農道は、現況施設と同位置での施工とし、事業実施に伴う地形の改変は最小限に留めた。
- 施工時には、次の点に配慮した。
  - ・ 路盤材砕石及びアスファルト合材はリサイクル品を使用。
  - ・ 建設発生土は工事内又は他工事の埋戻し、盛土へ再利用。
  - ・ 道路の両側にガッターを設置することで農道に排水機能を持たせ、排水路設置に伴う地形改変を最小限とした。



既設水路を使用し、断面不足分を嵩上げで対応

### 【生活環境】

- 通学路となっている箇所は、児童、歩行者の交通事故を防止するため、舗装上にグリーンベルトを標示。



### ③ 施設の維持管理状況

- 施設（畑かん、用排水路、農道）は、施設の所在する財産区及び南牧村において維持管理が適切に行われている。
- 維持管理は、定期的（2～3回／年）に草刈り、泥上げ、補修、保守管理等を実施。



財産区による排水路の泥上げ



村による農道の清掃



財産区による畑かん給水施設の点検、清掃

## ④ 地域住民等の評価

### 【受益者（農家）の評価】

#### ■畑地かんがい施設

- ・用水が安定的に確保された
- ・給水施設の整備により、労力と時間が軽減された

#### ■用排水路

- ・農地への冠水がなくなった
- ・排水不良がなくなり、作物生産量が増加した

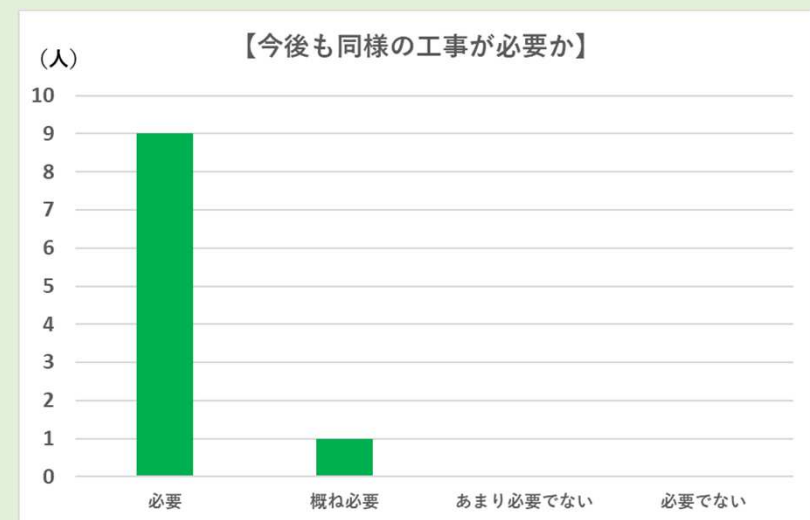
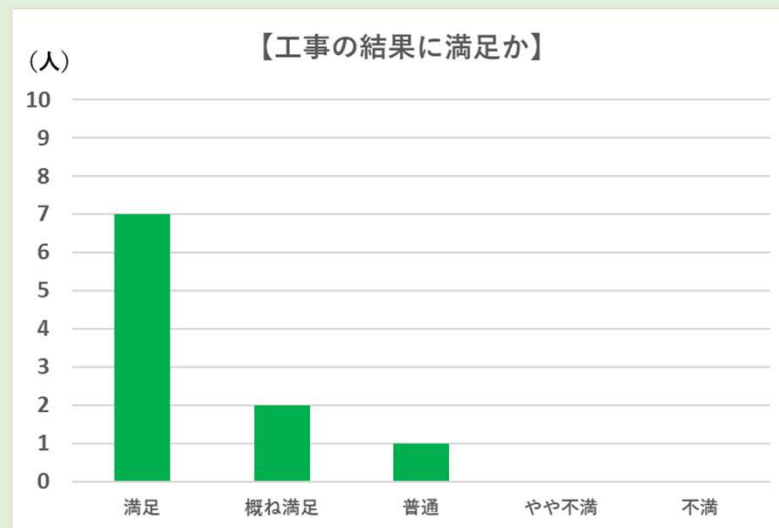
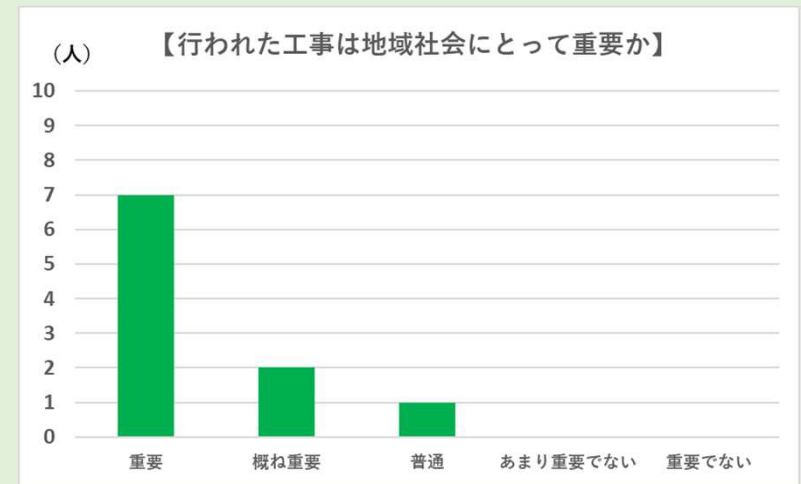
#### ■農道

- ・大型機械のすれ違いができるようになった
- ・輸送や農地への通作が便利になった

### 【施設管理者（南牧村）の評価】

- ・排水路の整備により、農地、人家等への被害が軽減した
- ・両側ガッターを設置した農道は、維持管理が容易になった

### 受益者（農家）の代表に対するアンケート調査結果





# 事後評価結果

## 総合評価

評価項目	評価	評点	評価指標
① 事業効果の発現状況（直接的効果、間接的効果）	B	55点	A：目的を超えた達成【70点】 B：目的を達成【55点】 C：目的を概ね達成【40点】
② 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	A	10点	A：計画時よりも環境がよくなった【10点】 B：大きな影響なし【5点】 C：影響が大きい【0点】
③ 施設の維持管理状況	A	10点	A：地域の人たちも参加し適切に実施【10点】 B：施設管理者が適切に実施【5点】 C：やや不十分【0点】 D：不適切【0点】
④ 地域住民等の評価	A	10点	A：評価が高い【10点】 B：中程度の評価【5点】 C：評価が低い【0点】
<b>総合評価</b>	<b>A</b>	<b>85点</b>	<b>A：75点以上</b> <b>C：49点以下</b> <b>B：74点～50点</b>

## 改善措置の必要性

特になし

## 今後の取組及び同種事業への活用と課題

本事業では、一部用地取得において時間を要したため、今後の取組として、当初計画段階から関係者へ事業の目的や効果を丁寧に説明することで、事業着手後の円滑な事業進捗を図る。

# 事後評価結果

## 【農政部公共事業評価委員会の意見】

本地区は、畑地かんがい施設の新設により用水の安定供給が図られ、排水路の整備により排水不良が解消にされ、作物生産量が増加した。また、農道の整備により輸送や通作条件が改善され、1経営体当りの耕作面積が増加した。

さらに、通学路となっている農道には、舗装上にグリーンベルトを標示したほか、大型機械のすれ違いが容易になったことで地域住民の評価も高く、総合評価Aと判断する。

## 【長野県公共事業評価委員会の意見】

農政部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。

県の評価案	A	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	A
-------	---	-----------	----	-------	---